



安全データシート

Page 1 of 13

スーパークリア

SDS No. : 132972

V001.3

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 26. 09. 2022

発行日: 18. 10. 2023

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1711586
製品名 : スーパークリア
推奨される用途 : コンタクト接着剤
会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
引火性液体	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 急性	区分 2	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	中枢神経系

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H225 引火性の高い液体及び蒸気。 H319 強い眼刺激。 H336 眠気又はめまいのおそれ。
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P233 容器を密閉しておくこと。 P240 容器を接地しアースを取ること。 P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 P242 火花を発生させない工具を使用すること。 P243 静電気放電に対する措置を講ずること。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P370+P378 火災の場合：乾燥砂、粉末消火薬剤または水溶性液体用泡消火薬剤を使用する。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
アセトン	70 - 80 %
酢酸 n-ブチル	10 - 20 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類はすみやかに脱ぎ捨てること。
眼に入った場合:	直ちに流水あるいは、すすぎ液で最低5分間、眼を洗い流す。痛み（激しい痛み、光への過敏、視力障害）が残る場合、洗浄を続け、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合:	口の中をすすぐ事、無理に吐かせないこと、医師の診察を受けること

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

使ってはならない消火剤： 危険にさらされた容器を水噴射で冷やす。

適切な消火剤： 二酸化炭素、泡、粉末、水噴射、微細な水噴霧

使ってはならない消火剤： 高圧水噴射

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置： 自給式呼吸器を着用すること。
保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 十分な換気を保つこと。
保護具を着用すること。
こぼれた製品で滑る危険がある。
皮膚や眼に触れないようにすること。

環境に対する注意事項 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 液体吸収材（砂、泥炭、おがくず）を用いて取り除く。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
安全取扱い注意事項 作業室は十分に換気すること。裸火、火花等着火源を避けること。電器機器のスイッチを切ること。禁煙。溶接しないこと。廃液を下水道に流さないこと。

多い量(>1kg)の処理を行うときは注意すること：処理中または接着後の乾燥中、十分換気すること。すべての着火源（例えばストーブやオーブン）から遠ざけること。作業を始める前に、例えば放射状のヒーター、ホットプレート、蓄熱ヒーター等のすべての電気装置の電源を切り十分にクールダウンする時間をとること。すべての火花、それを起こすおそれのある電気スイッチと、装置を避けること。

保管：
安全な保管条件： 他の容器に移し替えないこと。
使用後は容器を注意して閉め、良く換気された場所に保管すること。
熱の影響を受けないよう保管すること。
5° C ~ 40° C の温度

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
アセトン [アセトン]	500		管理濃度:		JPISHL OEL
アセトン [アセトン]	200	475	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
酢酸 n-ブチル [酢酸ノルマル-ブチル]	150		管理濃度:		JPISHL OEL
酢酸 n-ブチル [酢酸ブチル]	100	475	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
アセトン [アセトン]	500		管理濃度:		JPISHL OEL
アセトン [アセトン]	200	475	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
酢酸 n-ブチル [酢酸ノルマル-ブチル]	150		管理濃度:		JPISHL OEL
酢酸 n-ブチル [酢酸ブチル]	100	475	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
アセトン	250		時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
アセトン	500		短時間ばく露限度 (STEL) :		ACGIH
酢酸 n-ブチル	50		時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
酢酸 n-ブチル	150		短時間ばく露限度 (STEL) :		ACGIH

管理濃度
参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
アセトン	250		時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
アセトン	500		短時間ばく露限度 (STEL) :		ACGIH
酢酸 n-ブチル	50		時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
酢酸 n-ブチル	150		短時間ばく露限度 (STEL) :		ACGIH

設備対策： しっかりした換気/排気を確保すること。

保護具：

呼吸用保護具： この製品は集中換気排気装置のある職場でのみ使用を許す。集中換気排気装置が無い場合は自給式呼吸保護装置を使用しなければならない。

手の保護具： ニトリルゴム製の手袋の使用を推奨

眼の保護具： ぴったり閉じることができるゴーグル。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態：	液体	色：	無色
pH：	該当なし、混合物は（水に）不溶	臭い：	特異臭、溶剤臭
沸点：	58 ° C (136.4 ° F)	融点：	該当なし、製品は液体
蒸気密度：	1.32	密度：	0.87 g/cm ³ 0.87 g/cm ³
		蒸気圧：	データ無し/対象外

引火点:	-22 ° C (-7.6 ° F)	爆発範囲 (上限) :	データ無し/対象外
爆発範囲 (下限) :	データ無し/対象外	粘度 :	3,400 - 4,000 mm ² /s
水への溶解度	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外		
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性 :

反応性 : 酸化剤と反応する。

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。
避けるべき条件 意図された目的に使用される場合は、無し

混触危険物質 : 反応性の項を参照すること。

危険有害な分解生成物 : 不明

危険な重合反応 : 起こらない。

11. 有害性情報

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性 (経口) :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
アセトン	LD 50	5.2 g/kg	マウス	
アセトン	LD 50	3,000 mg/kg	マウス	
アセトン	LD 50	5,340 mg/kg	ウサギ	
アセトン	LD 50	5,800 mg/kg	ラット	
アセトン	LD 50	9,800 mg/kg	ラット	
アセトン	LD50	5,800 mg/kg	ラット	指定されていません
酢酸n-ブチル	LD 50	14,000 mg/kg	ラット	
酢酸n-ブチル	LD 50	14,130 mg/kg	ラット	
酢酸n-ブチル	LD50	10,760 mg/kg	ラット	OECD Guideline 423 (Acute Oral toxicity)

急性毒性 (経皮) :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
アセトン	LD 50	20,000 mg/kg	ウサギ	
アセトン	LD50	> 15,688 mg/kg	ウサギ	Draize test
酢酸n-ブチル	LD50	> 14,112 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）：

長期間および反復曝露した場合、健康被害は免れない。
製品の毒性は吸入後の麻薬作用によるものである。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	LC	21300 ppm		3 h	ネコ	
アセトン	LC Lo	110 mg/l		1 h	マウス	
アセトン	LC Lo	16000 ppm		4 h	ラット	
アセトン	LC50	76 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
アセトン	LC 50	55700 ppm	蒸気	3 h	ラット	
アセトン	LOAEL (最小毒性レベル)	12000 ppm		4 h	ヒト	
アセトン	LC	46000 ppm		1 h	マウス	
アセトン	LOAEL (最小毒性レベル)	0.01 mg/l		6 h	ヒト	
アセトン	LC	42000 ppm			ラット	
アセトン	LC 50	132 mg/l	蒸気	3 h	ラット	
アセトン	LC 50	76 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
アセトン	LC 50	50.1 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
アセトン	LC	40000 ppm			モルモット	
アセトン	LC	126000 ppm		2 h	ラット	
アセトン	LOAEL (最小毒性レベル)	500 ppm			ヒト	
酢酸n-ブチル	LC 50	> 21 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 0	9312 ppm	エアゾール	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	> 23.4 mg/l	エアゾール	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC50	> 23.4 mg/l	ミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
酢酸n-ブチル	LC 50	> 6.6 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	0.74 mg/l	エアゾール	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	1.802 mg/l	吸入	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	> 4.9 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	1109 ppm	エアゾール	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	1087 ppm	エアゾール	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	> 71.5 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	> 21.1 mg/l	吸入	4 h	ラット	
酢酸n-ブチル	LC 50	1096 ppm	エアゾール	4 h	ラット	

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	刺激性なし		モルモット	指定されていません
酢酸n-ブチル	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

眼一次刺激性：刺激性あり

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	刺激性		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
酢酸n-ブチル	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
アセトン	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	指定されていません
酢酸n-ブチル	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	指定されていません

生殖細胞変異原性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
アセトン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
アセトン	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
アセトン	陰性	mammalian cell gene mutation assay	without		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
酢酸n-ブチル	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
酢酸n-ブチル	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
アセトン	陰性	oral: drinking water		マウス	指定されていません
酢酸n-ブチル	陰性	oral: gavage		マウス	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
アセトン	not carcinogenic	皮膚	424 d 3 times per week	マウス	female	指定されていません

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間 / 処理 頻度	種	試験方法
アセトン	NOAEL 900 mg/kg	oral: drinking water	13 w daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
酢酸n-ブチル	NOAEL 125 mg/kg	oral: gavage	6 (interim sacrifice) or 13 w daily	ラット	EPA OTS 798.2650 (90- Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管、土壌または水辺に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	LC50	8,120 mg/l	96 h	Pimephales promelas	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
酢酸n-ブチル	LC50	18 mg/l	96 h	Pimephales promelas	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	EC50	8,800 mg/l	48 h	Daphnia pulex	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
酢酸n-ブチル	EC50	44 mg/l	48 h	Daphnia sp.	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	NOEC	2,212 mg/l	28 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
酢酸n-ブチル	NOEC	23.2 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	NOEC	530 mg/l	8 d	Microcystis aeruginosa	DIN 38412-09
酢酸n-ブチル	EC50	674.7 mg/l	72 h	Scenedesmus subspicatus (new name: Desmodesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酢酸n-ブチル	EC10	295.5 mg/l	72 h	Scenedesmus subspicatus (new name: Desmodesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	EC10	1,000 mg/l	30 min	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 27 (Bacterial oxygen consumption test)
酢酸n-ブチル	IC50	356 mg/l	40 h	Tetrahymena pyriformis	other guideline:

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
アセトン	readily biodegradable	aerobic	81 - 92 %	30 d	EU Method C. 4-E (Determination of the "Ready" Biodegradability: Closed Bottle Test)
酢酸n-ブチル	readily biodegradable	aerobic	83 %	28 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
アセトン		11 h	9 ° C	コダラ、成体	

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
アセトン	-0.24		OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
酢酸n-ブチル	2.3	25 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 廃棄物や残渣は地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法: リサイクルはパッケージを完全に空にしてから行う。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 3
Packing group: II
UN no. : 1133
Label: 3
EmS: F-E ,S-D
Seawater pollutant: -
Proper shipping name: ADHESIVES

Air transport IATA:

Class: 3
Packing group: II
Packing instructions (passenger) 353
Packing instructions (cargo) 364
UN no. : 1133
Label: 3
Proper shipping name: Adhesives

Further information for transport:

450 L 未満の包装された商品 (ADR/IMDG) は、粘度 (ADR 2.2.3.1.4 および IMDG 2.3.2.2) に基づいて、包装グループ III に分類できます。

国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物	アセトン 酢酸 n-ブチル
名称等を表示すべき有害物	アセトン 酢酸 n-ブチル
第2種有機溶剤等	アセトン 酢酸 n-ブチル

消防法 第4類引火性液体, 第4類 第1石油類(非水溶性)

毒物及び劇物取締法: 該当しない

PRTR 法: 該当しない

16. その他の情報

発行日: 18.10.2023

注意: この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。